

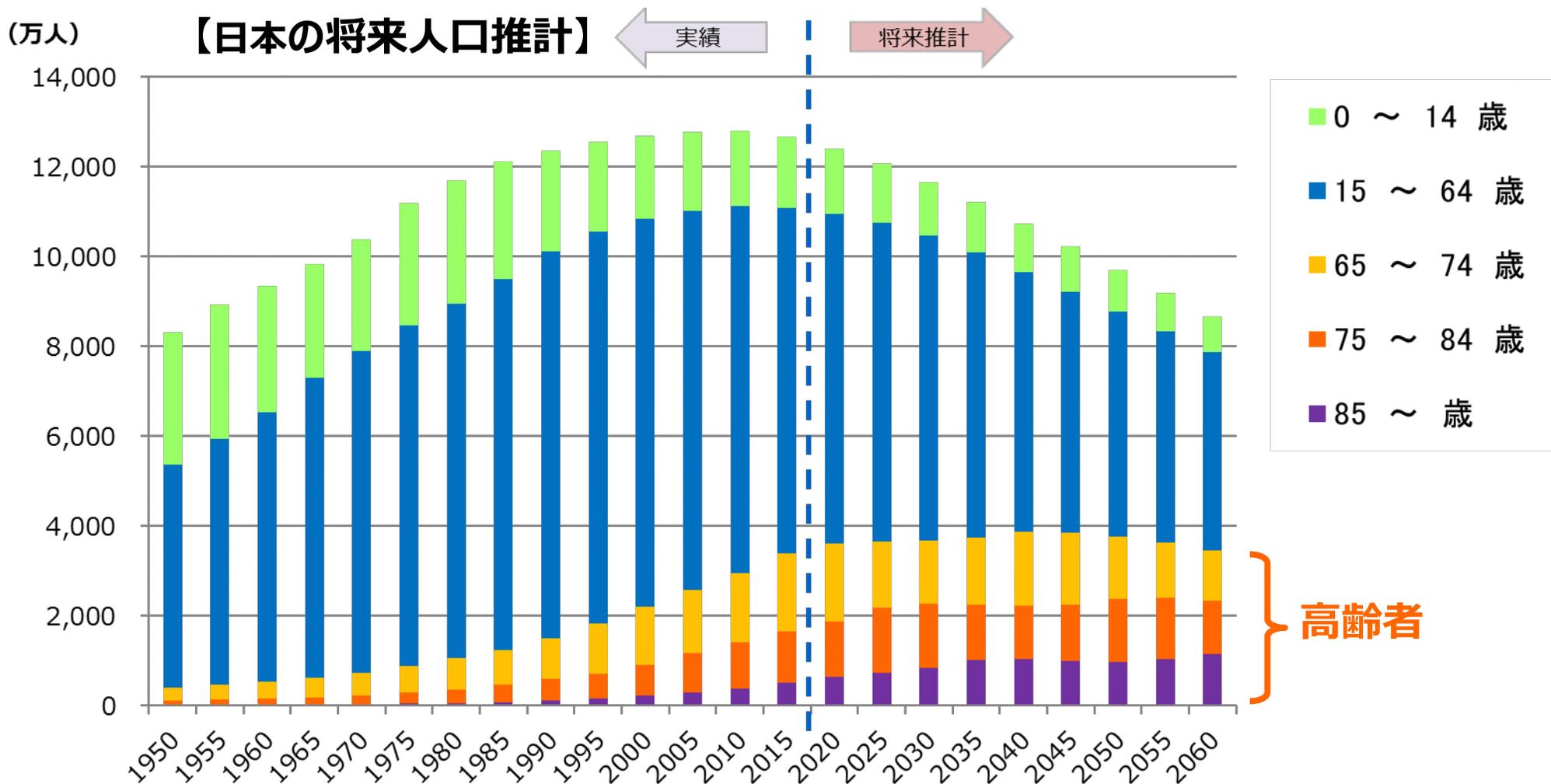
第4回 よこはま健康経営会議

Well-Beingの実現に向けて －社会の高齢化と健康経営の意義－

令和2年1月
経済産業省
商務・サービスG

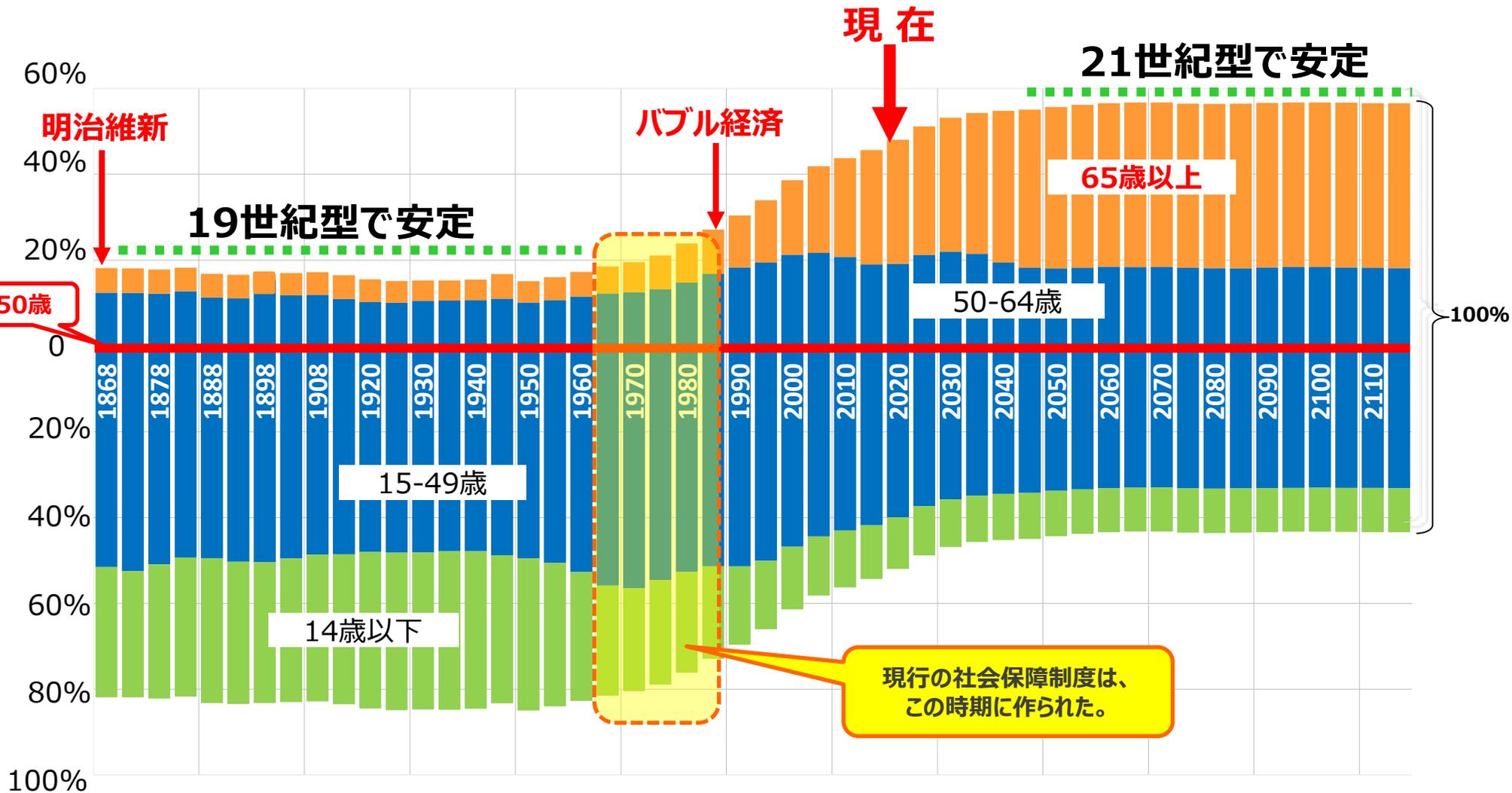
日本の人口推移（超高齢社会の意味）

- 社会の高齢化率が急速に高まる中、**社会保障費の拡大が財政を圧迫する要因**となるとともに、労働力の減少に伴う**経済活動の停滞**が懸念される。
- 他方、**65歳以上の高齢者人口は横ばい**。急速な高齢化は若年層の減少が原因。

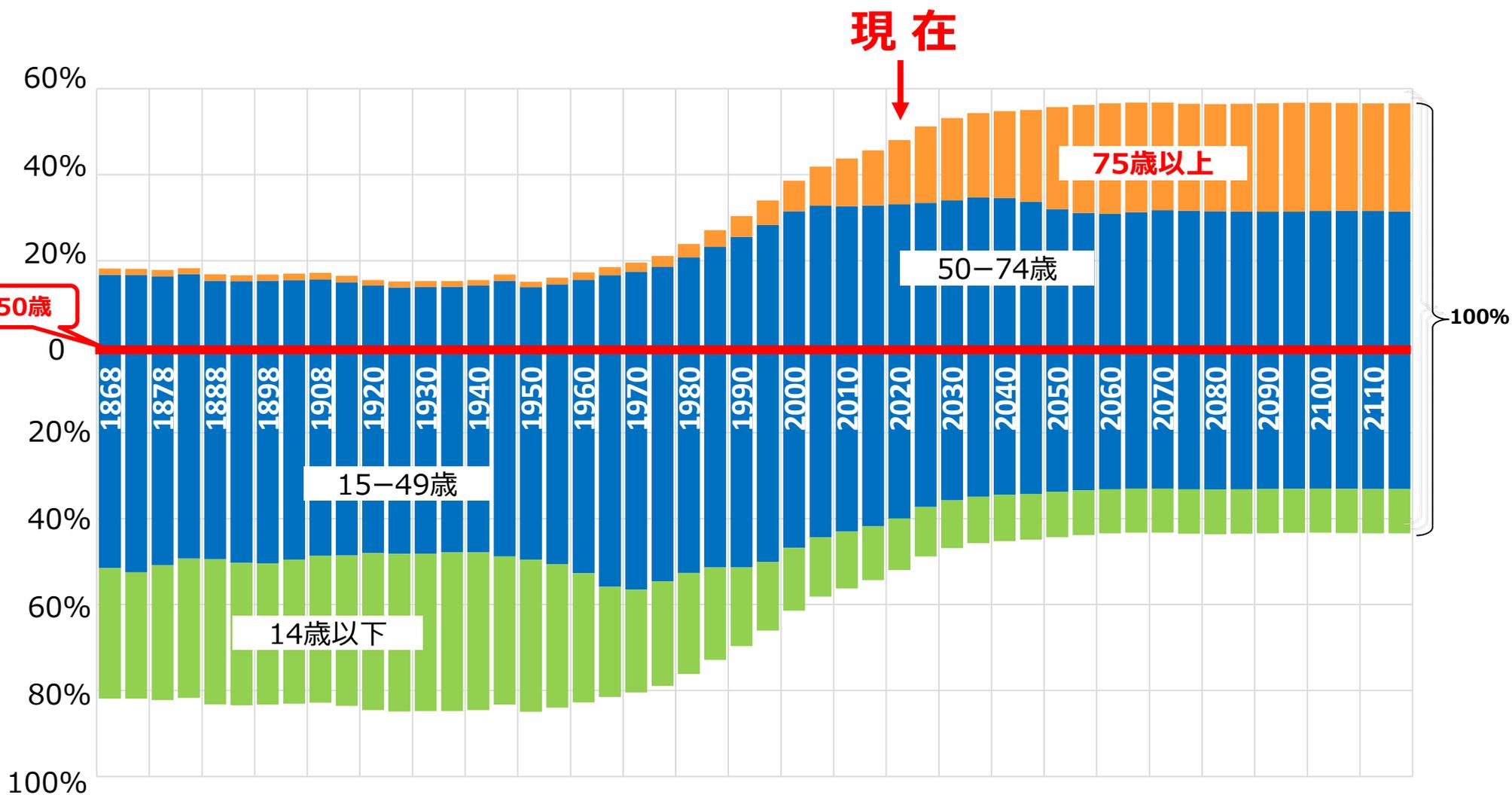


日本の人口構造（年齢層別人口割合の遷移）

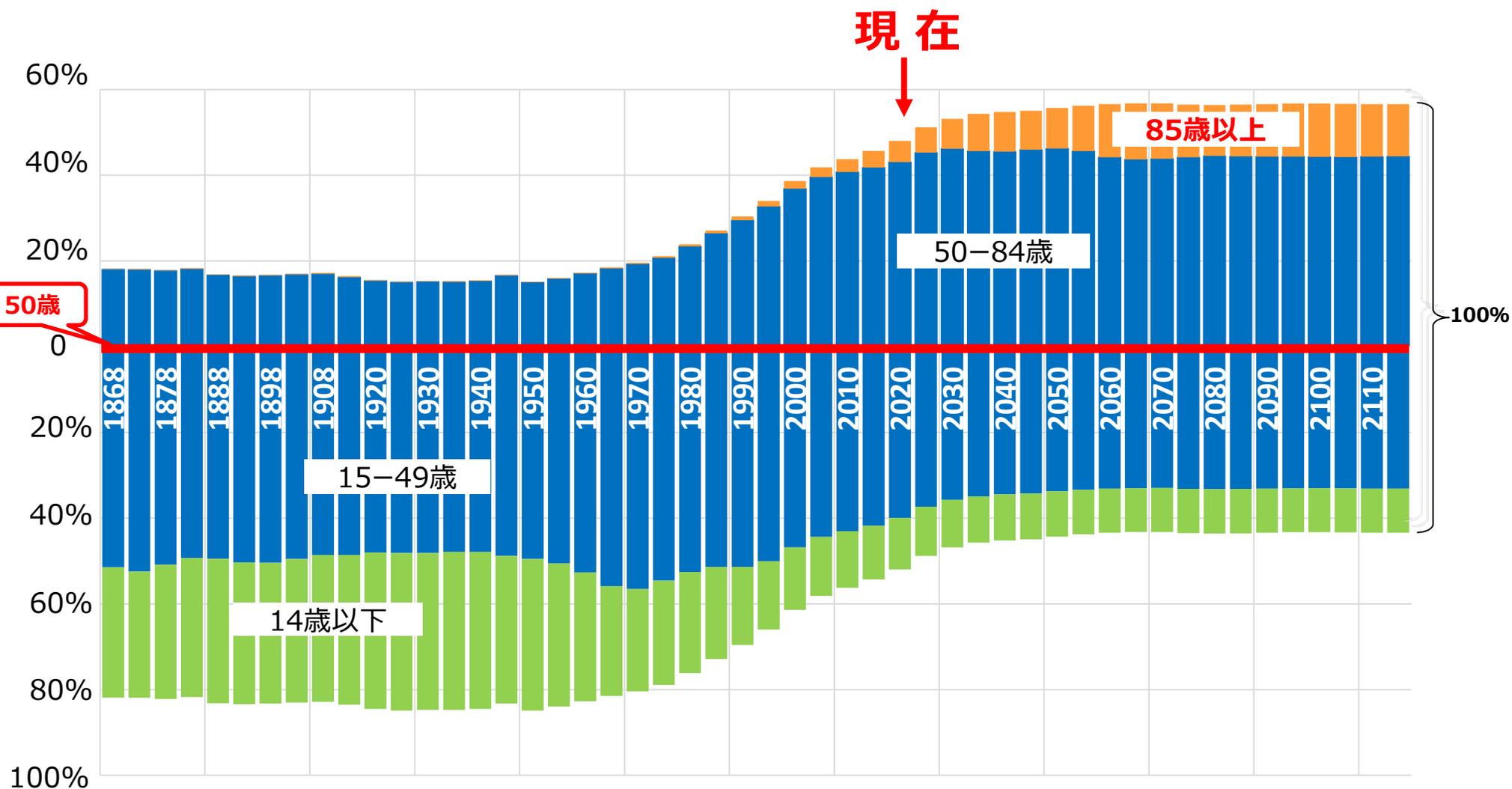
人口遷移 50歳を基準とした日本の人口構成 250年間の推移



高齢者の基準を75歳にした場合



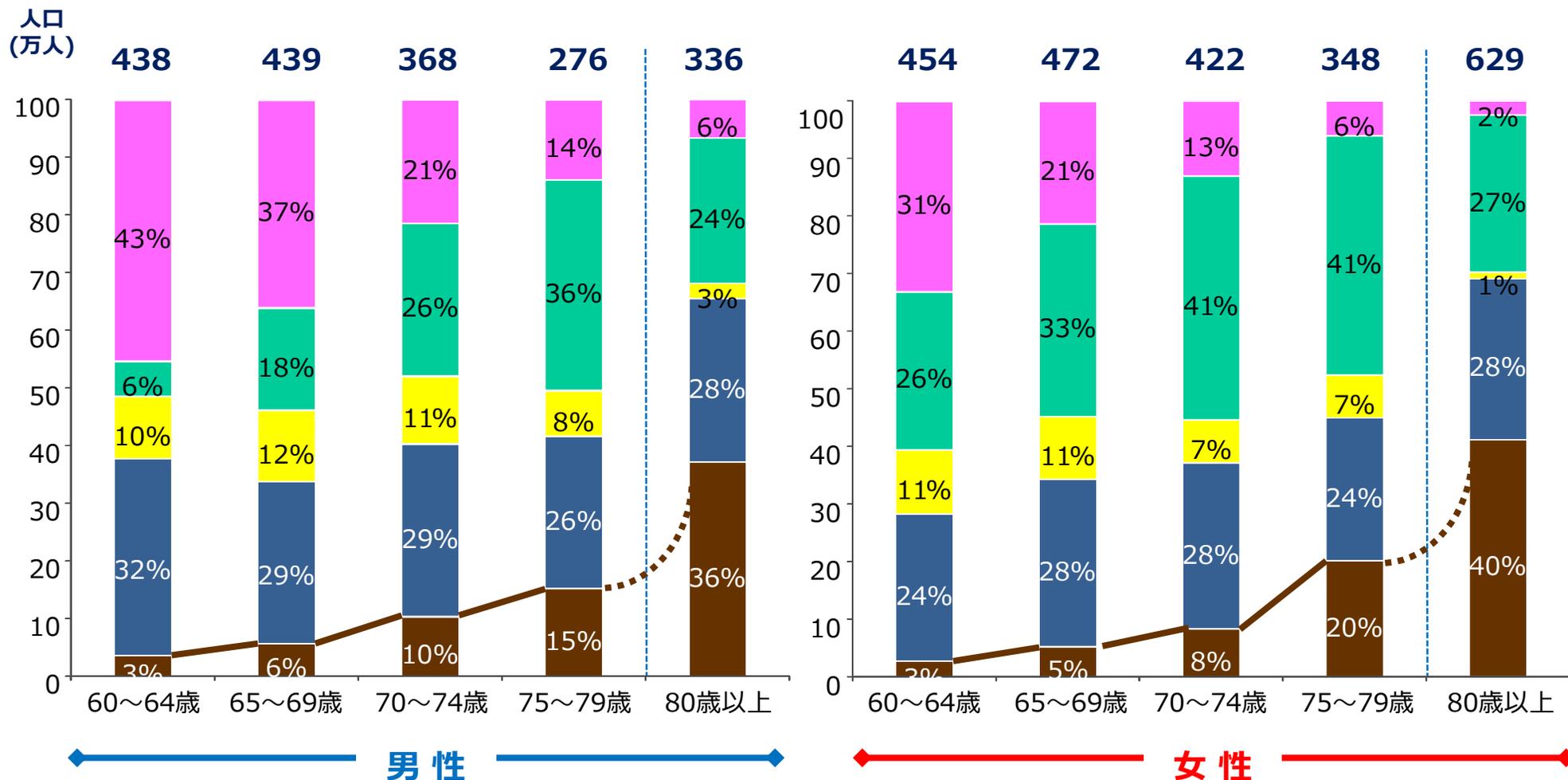
高齢者の基準を85歳にした場合



○ 80歳近くまでは、男女ともに**大半の高齢者が身体的に健康な状態を維持**している。

年代/性別に高齢者をタイプ分けした場合の割合推移

■ 就労層（生きがいあり）、 ■ 非就労・生きがいあり層、 ■ 就労希望層、 ■ 無気力層、 ■ **不健康層**



出所：H26高齢者の日常生活に関する調査（内閣府）、H24 就労構造基本調査

疾患等の原因・性質の変化

- 時代や社会環境の変化に伴い、**疾患の性質が変化**している。
- 疾患の変化に見合った対応が必要であり、**医療行為を行う前にやるべきことがある**。

<過去>

栄養不足（**飢餓**）、不衛生、暴力（**戦争**）

感染症、ケガ

※ 医療技術が発達していなかった**3000年以上前**にも**120歳**まで生きていた人はいた！

食事、運動、信仰によって対応

★ **経済の発展、医療技術の発達**により栄養状態、衛生状態が改善するとともに、多くの**感染症に効果的な治療薬**が発見されてきた。

※ **感染症のウエイトが大幅に減少**。

<現在>

食べ過ぎ（偏食）、**運動不足**、**ストレス**

生活習慣病、老化

食事？ 運動？ ストレスマネジメント？

「健康経営銘柄」の選定

- 平成27年3月、初代となる「健康経営銘柄」を選定以後、主要な新聞社やテレビ放送において「健康経営」を取り上げる機会が大幅に増加。
- 平成31年2月には、**第5回**となる「健康経営銘柄2019」として**28社業種37社**を選定。選定に用いる健康経営度調査には、過去最高の1,800法人からの回答があり、社会からの関心の高まりが見受けられる。



＜健康経営アワード2019の様子＞

- (上) 左から主催者の東京証券取引所 岩永取締役、関経済産業副大臣、プレゼンターの青木 愛氏
- (左) 健康経営銘柄2019選定企業によるフォトセッション



「健康経営銘柄2019」選定企業

- 「健康経営銘柄2019」として**26社業種35社**を選定。
- **1業種1社を基本**としつつ、健康経営度調査の結果において**各業種で最も高い健康経営度の企業の平均**を算出し、その**平均より高い健康経営度である企業も選定**している。

業種	選定企業	業種	選定企業
水産・農林業	日本水産株式会社	精密機器	テルモ株式会社
建設業	西松建設株式会社	その他製品	株式会社アシックス
食料品	味の素株式会社	陸運業	東京急行電鉄株式会社
繊維製品	株式会社ワコールホールディングス	情報・通信業	ヤフー株式会社
パルプ・紙	大王製紙株式会社		株式会社K S K
化学	花王株式会社		SCSK株式会社
医薬品	塩野義製薬株式会社	卸売業	キャノンマーケティングジャパン株式会社
石油・石炭製品	J X T Gホールディングス株式会社	小売業	株式会社丸井グループ
ゴム製品	バンドー化学株式会社	銀行業	株式会社広島銀行
ガラス・土石製品	TOTO株式会社		株式会社みずほフィナンシャルグループ
非鉄金属	古河電気工業株式会社	証券、商品先物取引業	株式会社大和証券グループ本社
機械	株式会社ディスコ	保険業	S O M P Oホールディングス株式会社
電気機器	コニカミルタ株式会社		MS&ADインシュアランスグループホールディングス株式会社
	ブラザー工業株式会社		東京海上ホールディングス株式会社
	オムロン株式会社	その他金融業	リコーリース株式会社
	株式会社堀場製作所	不動産業	フジ住宅株式会社
	キャノン株式会社	サービス業	株式会社ディー・エヌ・エー
輸送用機器	株式会社デンソー		

※業種は東京証券取引所の業種区分

「健康経営優良法人2019」の認定

- 日本健康会議が「健康経営優良法人2019」を認定。
- **3回目の認定**となる今回は、**大規模法人部門に820法人**、**中小規模法人部門に2,503法人**が認定され、前回から**大規模法人で約1.5倍**、**中小規模法人部門では約3倍**の認定数となった。（平成31年3月1日現在）

2019
健康経営優良法人
Health and productivity
ホワイト500
820法人

2019
健康経営優良法人
Health and productivity
2,503法人

<「健康経営優良法人2019(大規模法人部門)」代表法人 認定証授与>



<「健康経営アワード2019」の様子（第2部 パネルディスカッション）>



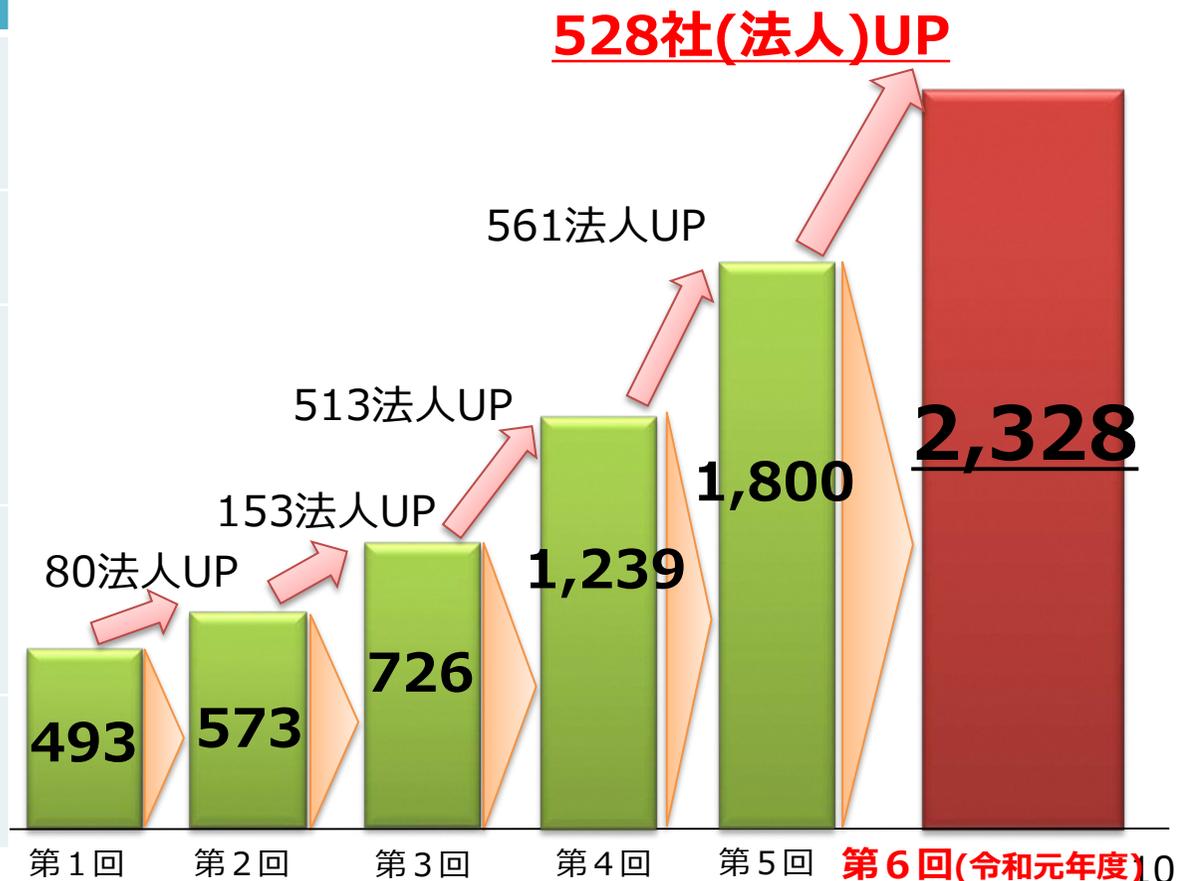
令和元年度健康経営度調査の概要①

- 令和元年度健康経営度調査の回答法人数は、**第5回(1,800法人)**から**528法人増加**の「**2,328法人**」であった。
- 回答法人のうち、**上場会社は964社**、**非上場会社(法人)は1,364社(法人)**であり、上場企業の回答企業数は、第5回(859社)から**105社増加**した。

調査結果概要

調査名	令和元年度 健康経営度調査 (従業員の健康に関する取り組みについての調査)
調査期間	令和元年8月～10月
調査対象	国内の法人組織 (令和元年8月時点)
回答数	2,328社 (法人)
(参考) 前回回答企業数	1,800社 (法人)

■ 過去6回の回答企業数の変化



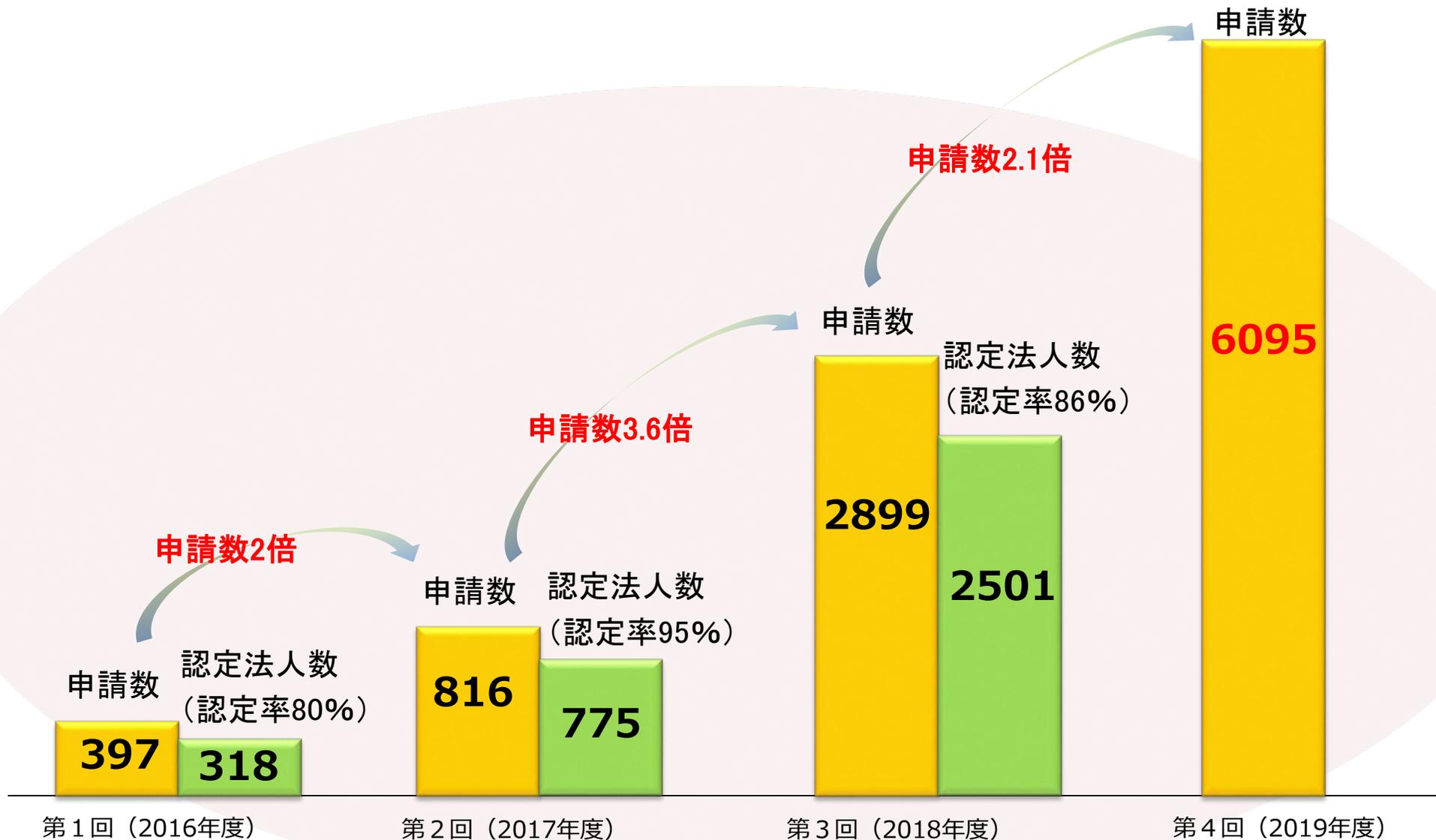
令和元年度健康経営度調査の概要②

○健康経営度調査の業界回答率は業種による差は存在するものの、上場企業における回答率が3割を超える業種が昨年度の**14業種から18業種に増加**した。

業種名	全回答数 (前年度)	うち上場企業 回答数 (前年度)	上場企業 対象数	上場企業回答率 (前年度)	非上場企業回答数 (前年度)	業種名	全回答数 (前年度)	うち上場企業 回答数 (前年度)	上場企業 対象数	上場企業回答率 (前年度)	非上場企業回答数 (前年度)
水産・農林業	3(3)	3(2)	11	27.3%(18.2%)	0(1)	その他製品	38(29)	24(20)	111	21.6%(19.1%)	14(9)
鉱業	2(2)	2(2)	6	33.3% (33.3%)	0(0)	電気・ガス業	23(18)	18(17)	24	75.0% (70.8%)	5(1)
建設業	98(83)	54(45)	175	30.9% (24.6%)	44(38)	陸運業	42(36)	19(21)	66	28.8%(31.8%)	23(15)
食料品	64(56)	49(45)	127	38.6% (35.2%)	15(11)	海運業	5(5)	4(4)	13	30.8% (30.8%)	1(1)
繊維製品	16(15)	13(15)	55	23.6%(27.3%)	3(0)	空運業	12(11)	2(4)	5	40.0% (80.0%)	10(7)
パルプ・紙	11(10)	9(9)	26	34.6% (34.6%)	2(1)	倉庫・運輸関連業	22(15)	6(6)	39	15.4%(15.4%)	16(9)
化学	88(75)	70(64)	215	32.6% (29.8%)	18(11)	情報・通信業	306(235)	97(78)	460	21.1%(17.8%)	209(157)
医薬品	40(41)	24(25)	67	35.8% (37.9%)	16(16)	卸売業	169(128)	74(65)	336	22.0%(19.4%)	95(63)
石油・石炭製品	7(6)	4(4)	11	36.4% (33.3%)	3(2)	小売業	273(203)	63(56)	364	17.3%(15.4%)	210(147)
ゴム製品	12(10)	11(8)	19	57.9% (42.1%)	1(2)	銀行業	75(66)	56(52)	87	64.4% (58.4%)	19(14)
ガラス・土石製品	12(8)	11(7)	58	19.0%(12.1%)	1(1)	証券、商品先物取引業	8(11)	7(9)	42	16.7%(21.4%)	1(2)
鉄鋼	16(13)	11(10)	45	24.4%(21.7%)	5(3)	保険業	42(37)	6(5)	15	40.0% (38.5%)	36(32)
非鉄金属	20(13)	12(10)	35	34.3% (28.6%)	8(3)	その他金融業	31(27)	16(15)	35	45.7% (41.7%)	15(12)
金属製品	23(21)	16(15)	93	17.2%(16.1%)	7(6)	不動産業	56(40)	24(21)	139	17.3%(15.9%)	32(19)
機械	63(51)	48(43)	232	20.7%(18.5%)	15(8)	サービス業	324(223)	79(69)	469	16.8%(15.5%)	245(154)
電気機器	127(100)	75(70)	250	30.0% (27.1%)	52(30)	その他（医療・社会福祉法人・官公庁等）	162(120)	-	-	-	162(120)
輸送用機器	107(72)	37(31)	95	38.9% (32.6%)	70(41)						
精密機器	31(17)	20(12)	51	39.2% (23.1%)	11(5)	総計	2,328	964	3,776	25.5% (23.0%)	1,36(941)

健康経営優良法人2020（中小規模法人部門）申請

○ 健康経営優良法人2020（中小規模法人部門）は令和元年8月30日～令和元年10月31日で申請を受け付けた結果、**昨年の2倍を超える6095法人からの申請**があった。



- 銘柄選定によるその後の反響について、選定企業に対し調査を実施。
- 社内外から**前向きな反響**があったとの声が多数。

1. 投資家等への情報発信

- ✓ 就活生向けの会社案内資料に健康経営銘柄の選定を盛り込んだほか、有価証券報告書、CSR報告書や社内報に記載するなど、**社内外や投資家に向けて打ち出し**。
- ✓ 名刺やHP、会社紹介冊子等に取組を紹介し、**取引先等に選定結果をPR**。
- ✓ 健康経営の取組に関する取材が増え、**メディア露出の機会が増大**。また、**役員による講演も多数依頼されるようになった**。

2. 社内における行動変容

- ✓ **経営トップによる取組強化の指示**などが発信され、**健康増進計画や社員参加型の健康増進プログラムの拡充**を図っている。
- ✓ (銘柄を継続して取っている企業においても) **新たな取組を実行**。
- ✓ 健康増進に関する**中長期計画策定や健康経営推進組織の設置**を行った。
- ✓ 各事業所で取り組むアクションや目標を継続して実行でき、**健康経営が習慣化した**。

3. 社内外の反響

- ✓ 学生の認知度が向上し、**就活生が大幅に増加したり**、**内定後辞退率が減ったりした**。**優秀な人材の確保**につながっている。
- ✓ 取引先やその他の企業から、**高く評価してもらえた**。取組に関する**多数の問合せ**がある。
- ✓ 投資家から「**中長期的な成長が見込まれる**」と**高い評価**をもらった。
- ✓ 銘柄を取得した他企業との情報共有を通じ、**他業種との繋がり**のきっかけとなった。

「健康経営優良法人」認定による変化・効果

- 健康経営優良法人2017及び健康経営優良法人2018に連続して認定された法人に対し、健康経営優良法人2017認定後の変化や効果についてアンケートを実施。
- 大規模・中小規模ともに、「自社内での意識の高まり」が最も高く、「企業イメージの向上」、「コミュニケーション等の向上」、「労働時間適正化や有給取得率の向上」が共通して上位を占めている。

健康経営優良法人2017認定以降の変化（健康経営優良法人2018認定法人へのアンケート）

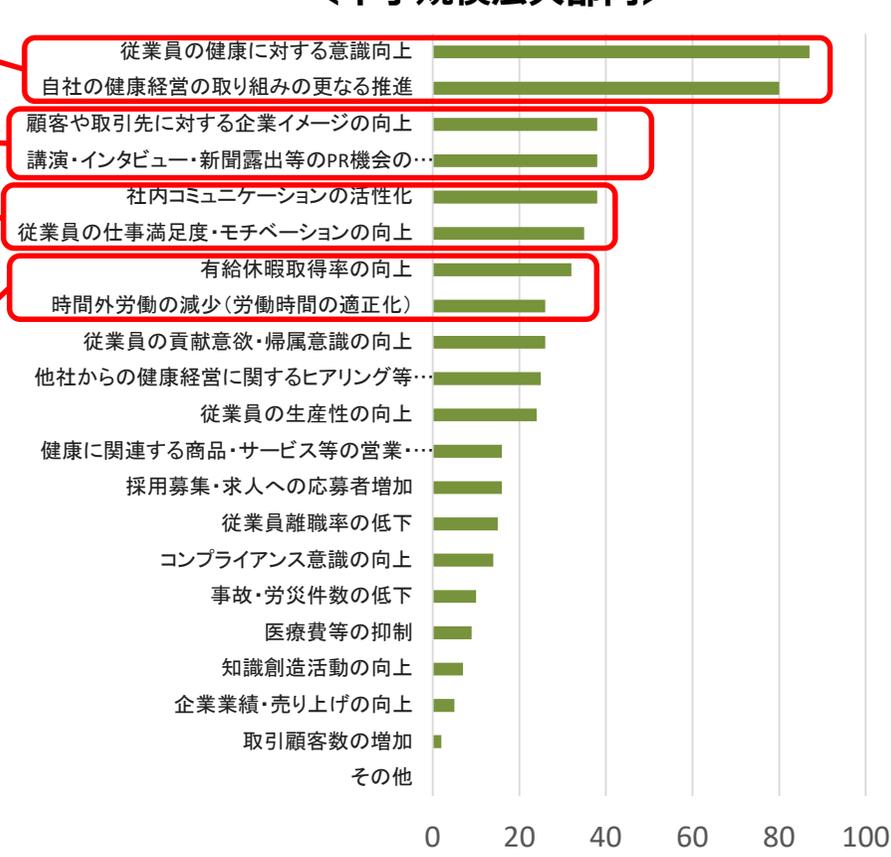
<大規模法人部門>

n=129



<中小規模法人部門>

n=105



中小企業における健康経営の推進（インセンティブ措置例）

- 地域の銀行において「**健康経営優良法人認定制度**」に連動した優遇制度等が開始されている。
- また、地方自治体においても、公共入札の等級格付け等、「**健康経営優良法人**」に対するインセンティブ制度が創設されている。

【健康経営優良法人に対する支援策】

池田泉州銀行

人財活躍応援融資“輝きひろがる”

「健康経営優良法人」等の認定を取得している中小企業者に対し、銀行所定金利より**一律年▲0.10%の融資**を実施。（平成28年12月）

東京海上日動火災保険(株)

「業務災害総合保険（超Tプロテクション）」

従業員が被った業務上の災害をカバーする保険商品において、「健康経営優良法人」認定割引として**5%の割引**を適用。

（平成29年3月）

栃木県信用保証協会

健康・働き方応援保証“はつらつ”

「健康経営優良法人」等の認定を取得している中小企業者に対し、事業資金について**基準保証料率から最大20%の割引**を実施。

（平成29年12月）

住友生命保険相互会社

団体3大疾病保障保険「ホスピタA（エース）」

3大疾病を保障する団体保険において、「健康経営優良法人」に対して健康経営割引プランを適用し、**保険料を2%割引**。（平成30年4月）

北海道岩見沢市

建設工事競争入札参加資格における等級格付け

「健康経営優良法人」認定を受けている市内業者に対し、**5点の加点評価**。（平成29年1月）

長野県

長野県中小企業融資制度「しあわせ信州創造枠」

「健康経営優良法人」等の認定を受けている中小企業の運転資金の**貸付利率を0.2%引下げ**。（平成29年4月）

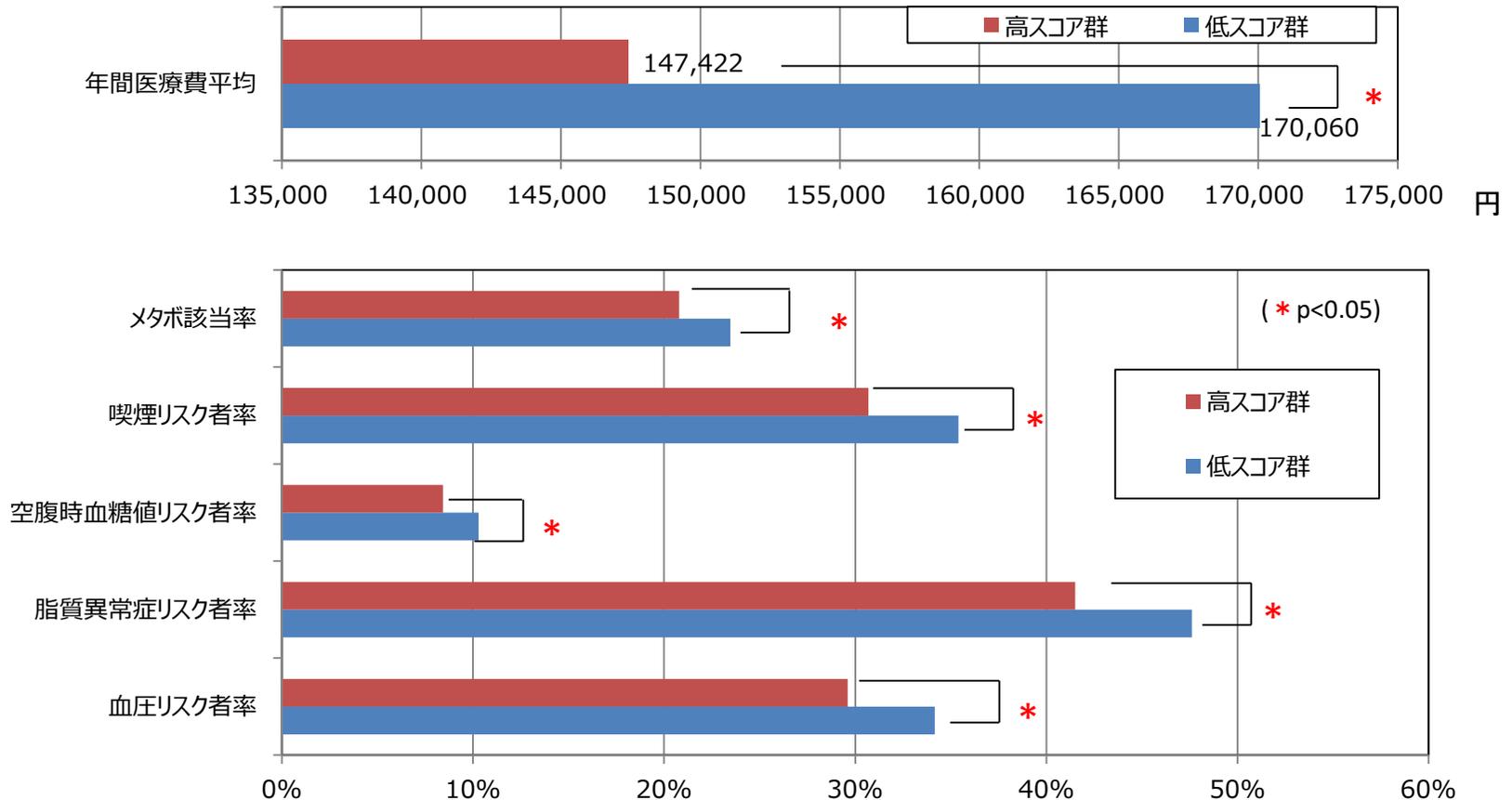
長野県松本市

建設工事における総合評価落札方式の加点評価

「健康経営優良法人」認定を受けている事業者に対し、100点満点中**1.0点の加点評価**。（平成30年4月）

健康経営の投資対効果を測定するための手法の開発・研究

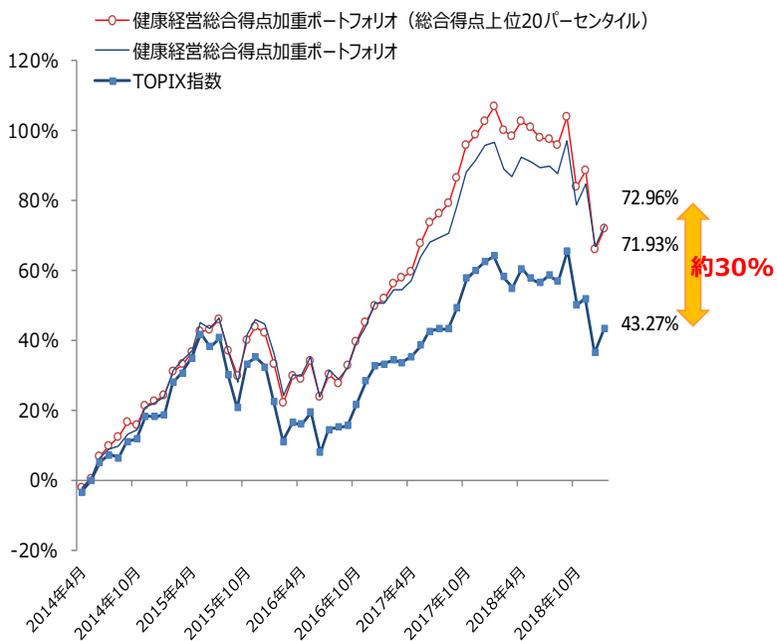
- 東京大学等が土木建築業種の大企業23社に対し健康経営度調査を実施するとともに、**健診・レセプトデータ（過去3年分）を突合**。
- 健康経営度調査結果の中央値で**高スコア群**と**低スコア群**の2群に分け、**医療費、各種リスクとの関係性を分析**。
- **年間医療費平均、メタボ該当率、喫煙リスク者率、空腹時血糖値リスク者率、脂質異常症リスク者率、血圧リスク者率**において、高スコア群が低スコア群をいずれも下回る結果が得られた。



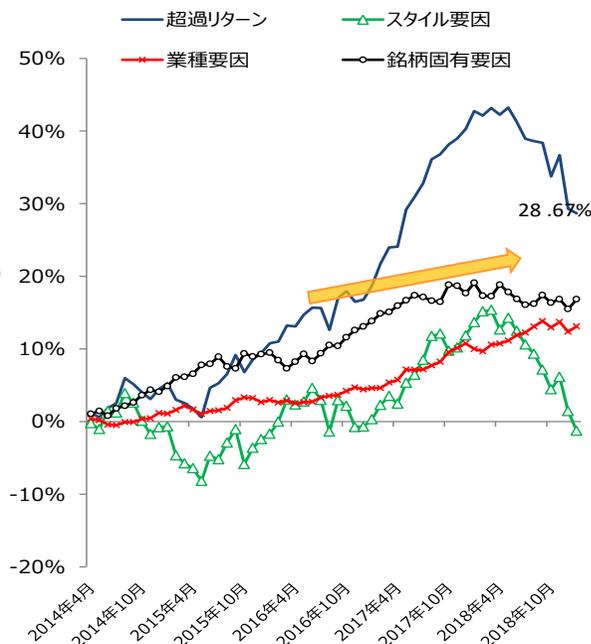
※ リスクの割合は、健康経営度調査に回答した企業個社ごとに、特定健診を受けた者のうちリスク者が占める割合を算出し、高スコア群企業、低スコア群企業の中で平均化したもの。

- 平成30年度健康経営度調査の結果から、**健康経営と企業業績との関係**を調査。
 - ① 健康経営度調査に回答した企業全体の総合得点加重ポートフォリオ、② 健康経営度調査上位20%企業の総合得点加重ポートフォリオを、2014年3月末から保有した場合、**TOPIX指数と比較すると5年間で30%程度の超過リターン**が示された。
- 超過リターンのうち、「**業種要因**（業種特有の事情による変動）」と「**スタイル要因**（景気による変動）」を除いた『**銘柄固有リターン**』は上向きになっていることから、健康経営を推進する企業は、『**レジリانس（耐久性）**』が高いという示唆が得られた。

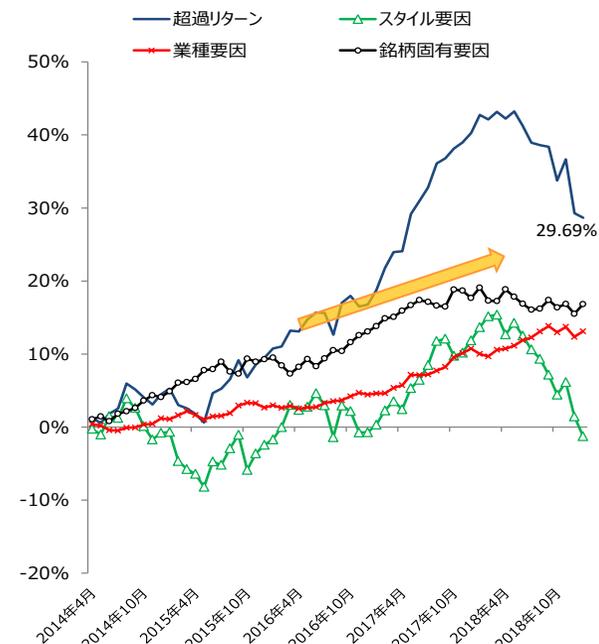
各ポートフォリオの絶対リターンの比較



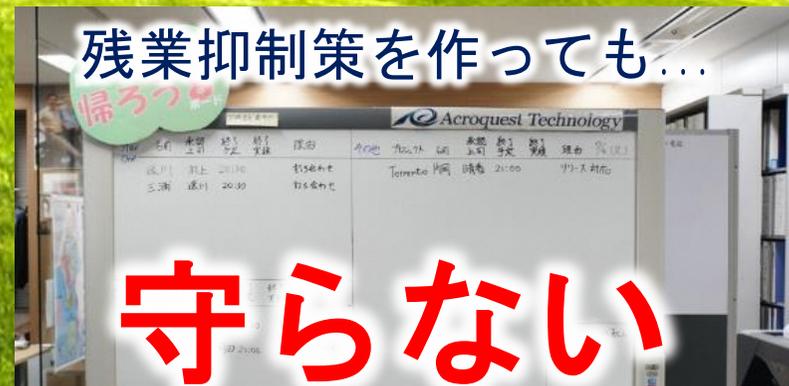
健康経営度調査に回答した企業全体の総合得点加重ポートフォリオ対TOPIX指数超過リターン



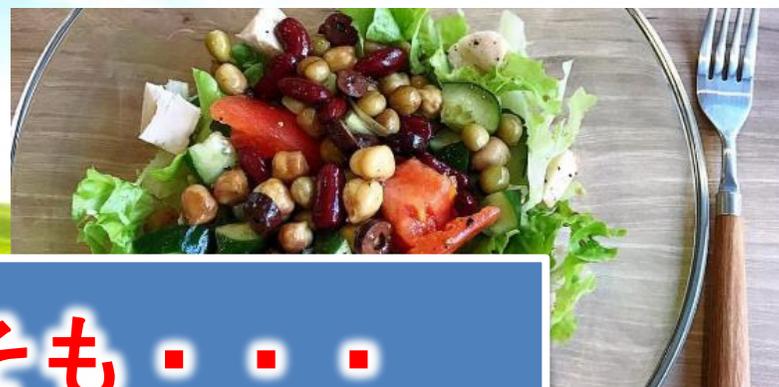
健康経営度調査上位20%企業の総合得点加重ポートフォリオ対TOPIX指数超過リターン



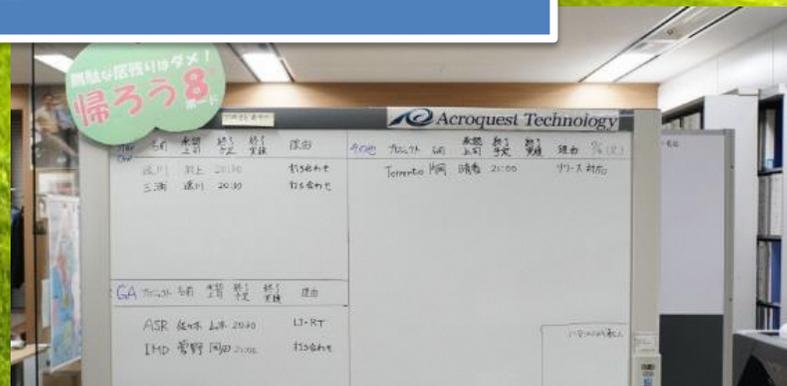
皆さんの職場では、このようなことはありませんか？



皆さんの職場では、このようなことはありませんか？



つまり、そもそも・・・



このような取り組みは、

社員のコミュニケーションが良く、

信頼関係が成り立っているからできる！

つまり

健康経営を行うには、

会社の組織作りに目を向ける

ことが大切です。

どんな組織作りか？

- ・ **社員が主体** となって取り組む
- ・ **一体感** を持って問題に取り組む
- ・ **毎日少しずつ** の組織作り

健康経営の第一歩です！

健康経営とは？

- **社員のコミュニケーション 信頼関係**
社長も入れて全員で議論する環境 一体感&やり甲斐
- **幸せなキャリアの実現 やりたいことをやれる環境作り**
働き甲斐の無い仕事を減らす取り組み 専門能力を活かせる職場
- **相互信頼関係で結ばれたパートナーシップ**
会社（経営者）からのメッセージ 社員に向き合う姿勢

成熟社会におけるマネジメントシステム



健康経営銘柄
Health and Productivity

ご静聴ありがとうございました



健康経営優良法人
Health and productivity
ホワイト500



健康経営優良法人
Health and productivity